

# 平成 30 年度 バス利用者アンケート調査 報告書

## 1 調査の実施

### (1) 調査の目的

大竹・栗谷線，坂上線，こいこいバスの利用実態や問題等の把握を目的に，それぞれの利用者を対象にアンケート調査を実施した。

### (2) 調査の設計

#### ①調査対象

大竹・栗谷線，坂上線，こいこいバスの利用者

#### ②調査方法・期間

■調査期間 平成 30 年 9 月 10 日（月）～平成 30 年 9 月 16 日（日）

#### ■調査方法

○大竹・栗谷線，坂上線

- ・ 9/10, 11, 16 日は，調査員が車内で聞きとり
- ・ 9/12～15 日は，調査票を車内に配置して利用者自身で受け取る
- ・ 回収は，郵送または車内回収箱

○こいこいバス

- ・ 9/10, 11, 16 日は，調査員が車内で調査票を手渡し配布
- ・ 9/12～15 日は，調査票を車内に配置して利用者自身で受け取る
- ・ 回収は，郵送または車内回収箱

#### ③主な調査項目

- 回答者の属性（性別，年齢，居住地域など）
- （それぞれのバスの）普段の利用状況
- （それぞれのバスの）満足度
- （それぞれのバスの）今後の利用意向
- （それぞれのバスの）意見や要望

### (3) 調査票の回収状況

表 配布件数・有効回答件数

路線名	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	回収率 (%)
大竹・栗谷線	39	32	82.1
坂上線	115	75	65.2
こいこいバス	591	303	51.3

### (4) 本報告書の数値の取り扱い等

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2つの選択肢を集約した場合（「大変満足」と「やや満足」を合計した『満足』など）は、当該選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

## 2 アンケート調査結果 <大竹・栗谷線>

### 質問1 回答者（利用者）の属性

- 「女性」が56.3%、「男性」が43.8%となっており、女性の割合が高い。
- 年齢は「70歳代」が28.1%で最も多く、以下「80歳以上」(25.0%)、「60歳代」(18.8%)と続いており、60歳以上をまとめると約72%、また70歳以上では約53%を占めている。
- 世帯構成は、「ひとり暮らし」と「二世帯」が共に37.5%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(18.8%)となっている。
- 職業は、「無職」が37.5%で最も多く、以下「専業主婦・主夫」(25.0%)、「会社員・公務員」(21.9%)の順となっている。

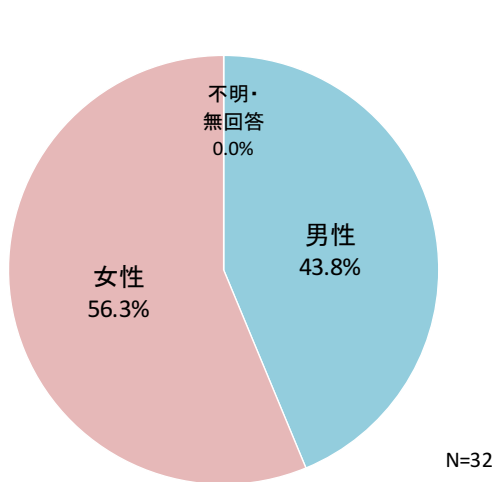


図 性別

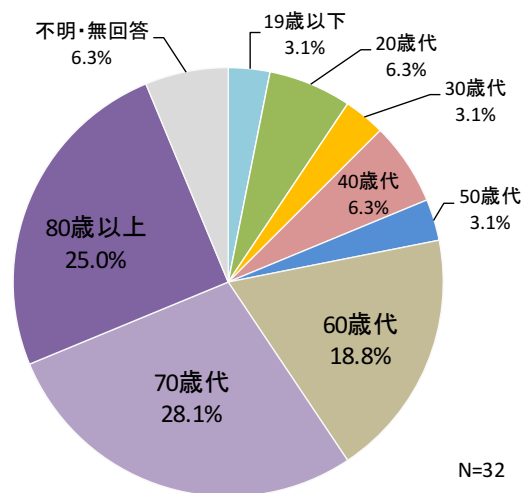


図 年齢

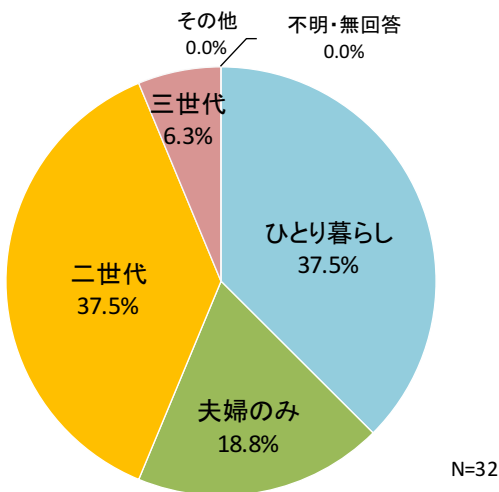


図 世帯構成

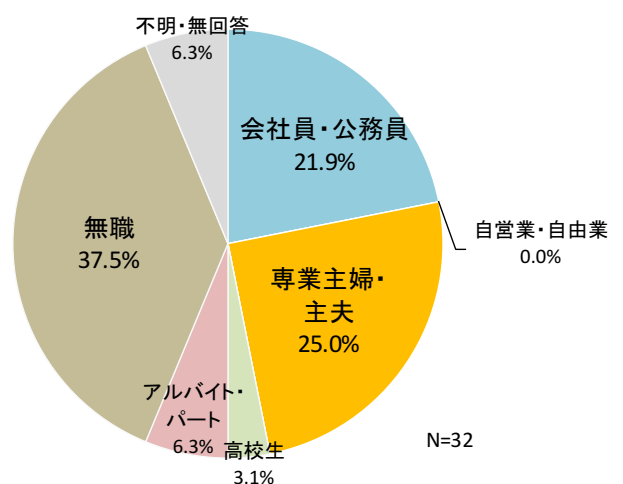


図 職業

○居住地は「大竹市外」が43.8%で最も多く、以下「栗谷地域」(34.4%)、「玖波地域」(21.9%)の順となっている。

○運転免許は「持っていない」が62.5%で最も多く、「自動車運転免許」保有は34.4%となっている。

○自動車の保有では、「自動車はない」が43.8%で最も多く、次いで「主に家族が使う自家用車がある」が34.4%となっている。

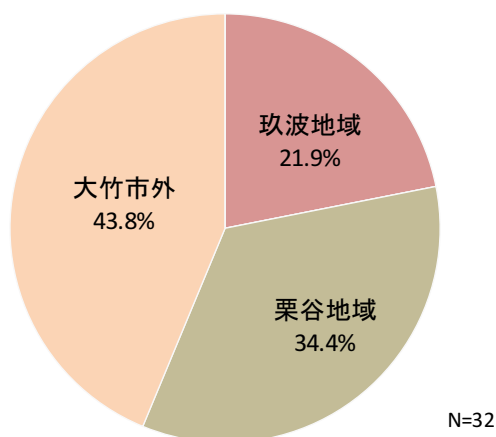


図 居住地

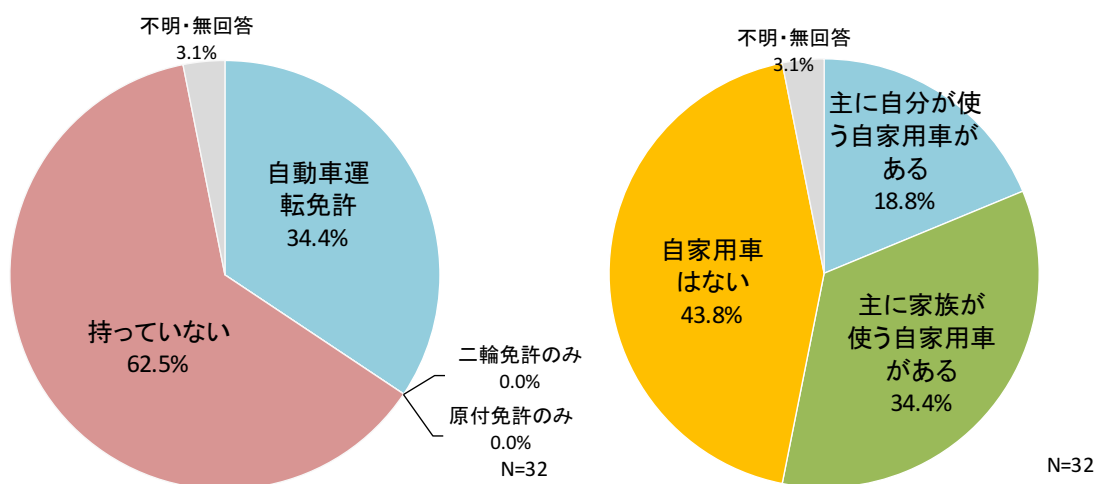


図 運転免許の保有状況

図 自家用車の保有状況

質問2 普段の大竹・栗谷線の利用について

①大竹・栗谷線の頻度

○「月に2～3日」が31.3%で最も多く、次いで「年に数日程度」が25.0%となっており、『週1回以上』（「概ね毎日」～「週に数回」の合計）利用している人は約38%となっている。

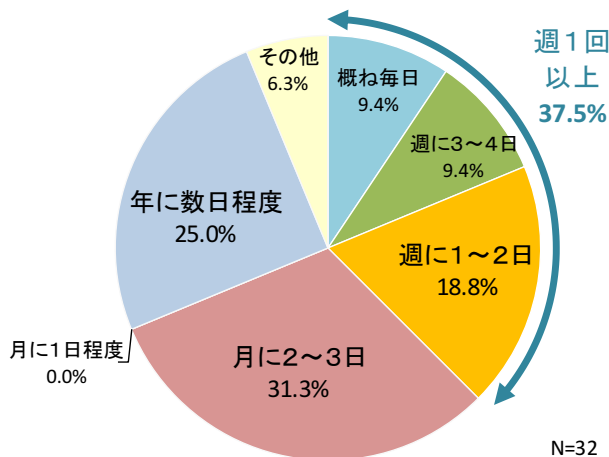


図 大竹・栗谷線の利用頻度

②大竹・栗谷線の主な利用目的（複数回答）

○「通院・看護」が50.0%で最も多く、次いで「買物」が34.4%、以下「通勤」（18.8%）、「登山・山歩き」（15.6%）の順となっている。

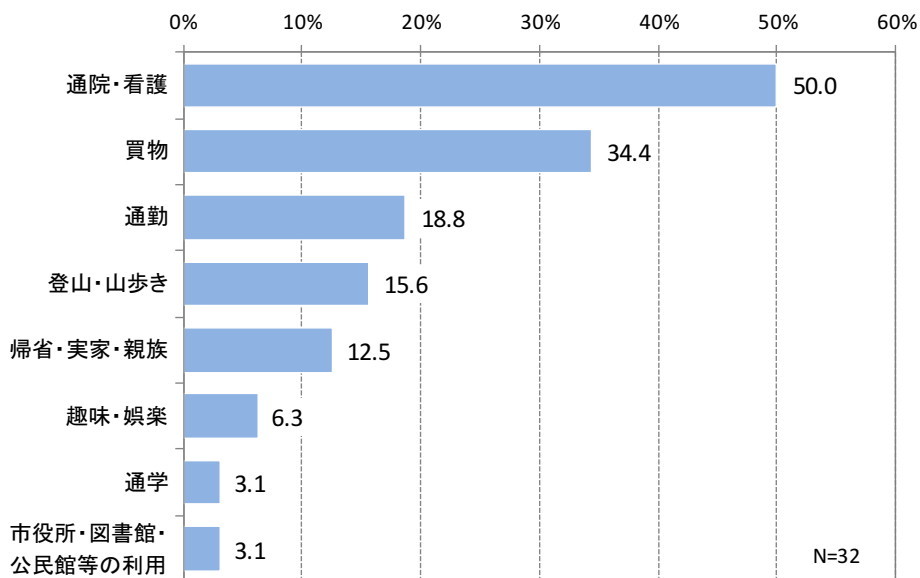


図 大竹・栗谷線の主な利用目的

(複数回答)

③大竹・栗谷線を利用してよく訪れる目的地（複数回答）

○広島西医療センターが最も多く 25.0%となっている。

表 主な目的地（複数回答）

主な目的地	回答数	(割合)
広島西医療センター	8	25.0%
ゆめタウン大竹	4	12.5%
河平連山	4	12.5%
玖波駅	4	12.5%
実家	2	6.3%
病院	2	6.3%
仕事先	2	6.3%
買物	2	6.3%
その他(回答が1件のもの)	6	18.8%
合計(回答者数)	32	100.0%

※病院、仕事先等、一部施設を集約している

④利用の多いバス停

○自宅・行き先に近いバス停は共に玖波駅が最も多くそれぞれ 21.9%、37.5%となっている。

表 利用の多いバス停（複数回答）

自宅に近い方のバス停名	回答数	(割合)	行き先に近い方のバス停名	回答数	(割合)
玖波駅	7	21.9%	玖波駅	12	37.5%
蛇喰口	3	9.4%	広島西医療センター	5	15.6%
松ヶ原農協	3	9.4%	渡ノ瀬	4	12.5%
マロンの里	2	6.3%	大竹駅	2	6.3%
栗谷	2	6.3%	その他(回答が1件のもの)	6	18.8%
大栗林	2	6.3%	不明・無回答	5	15.6%
大迫	2	6.3%			
谷尻	2	6.3%			
その他(回答が1件のもの)	5	15.6%			
不明・無回答	4	12.5%			
合計(回答者数)	32	100.0%	合計(回答者数)	32	100.0%

※2件以上のみバス停名を表示

⑤自宅から最寄りの大竹・栗谷線停留所までの距離

○「おおよそ徒歩で3分以内」が28.1%で最も多く、次いで「おおよそ徒歩で10分以内」が25.0%となっている。  
 ○また、「徒歩だと30分を越える」が12.5%となっている。

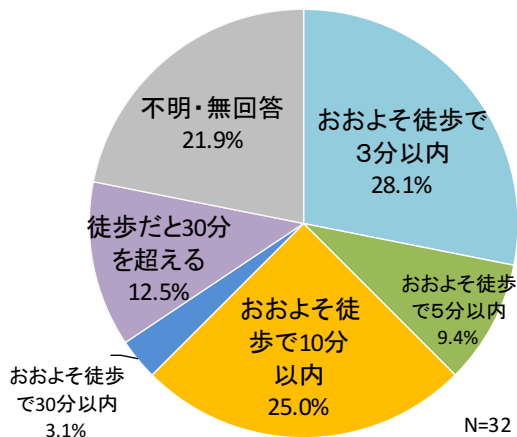


図 自宅から最寄りの大竹・栗谷線停留所までの距離

⑥大竹・栗谷線の行き帰りの利用について

○「行き・帰りともに大竹・栗谷線を利用することが多い」が78.1%を占める。

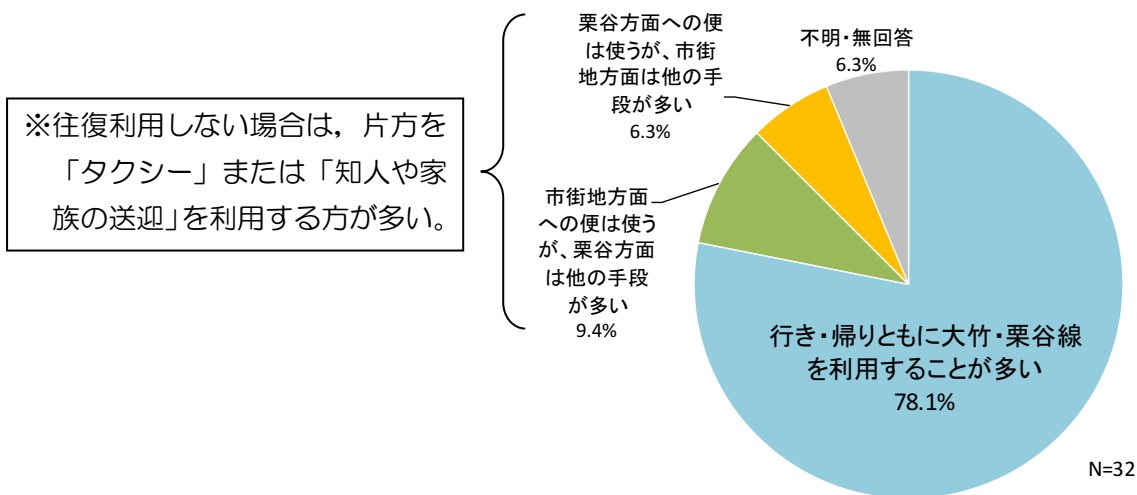


図 大竹・栗谷線の行き帰りの利用について

⑦今後の大竹・栗谷線の利用意向

○「つづけて利用する」が96.9%を占める。

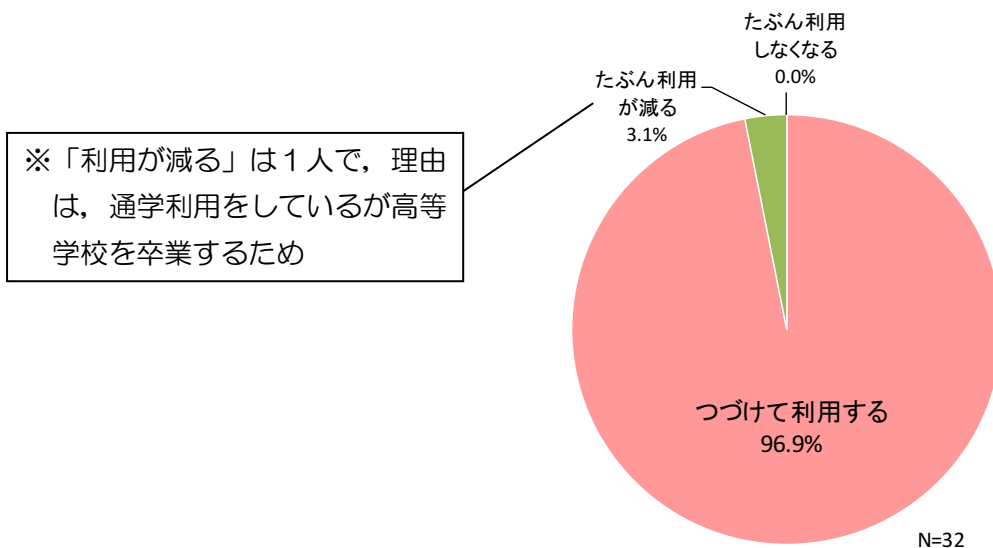


図 今後の大竹・栗谷線の利用意向

質問3 大竹・栗谷線の満足度や要望について

○「非常に満足」(53.1%),「満足」(40.6%)を合わせると93.8%を占める。

○満足の回答が多いため、要望では「不満がない、存続を希望」といった回答が最も多い。その他では「増便」を要望する意見が多い。

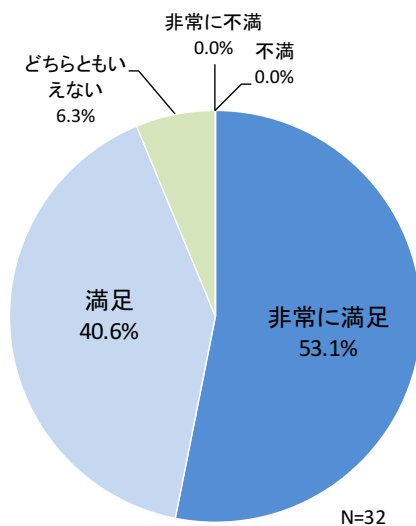


図 大竹・栗谷線の満足度

[主な要望や意見(複数回答)]

- 不満無し、存続を希望 13件
- 便数・ダイヤの要望 5件
- 運行ルート of 要望 2件 など



### 3 アンケート調査結果 <坂上線>

#### 質問1 回答者（利用者）の属性

○「女性」が65.3%、「男性」が34.7%となっており、女性の割合が高い。  
 ○年齢は、「80歳以上」が29.3%で最も多く、以下「60歳代」（18.7%）、「70歳代」（17.3%）と続いており、60歳以上をまとめると約65%、また70歳以上では約47%を占めている。  
 ○世帯構成は、「ひとり暮らし」と「二世帯」が共に30.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ」（22.7%）となっている。  
 ○職業は、「無職」が34.7%で最も多く、以下「アルバイト・パート」（17.3%）、「専業主婦・主夫」（16.0%）の順となっている。

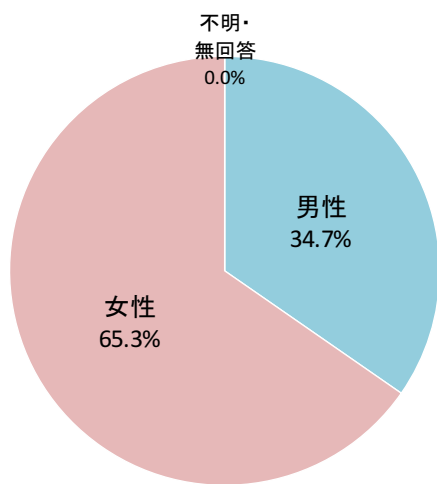


図 性別

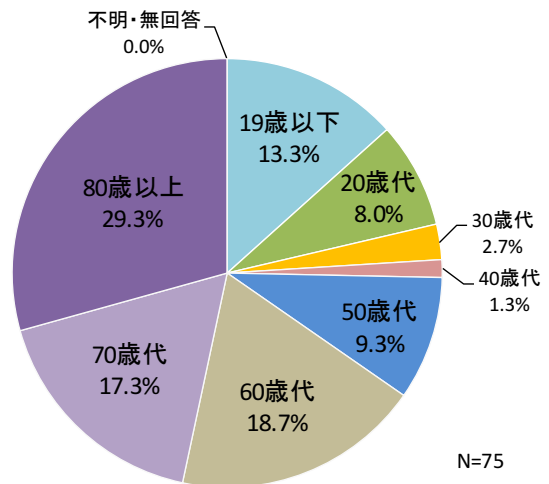


図 年齢

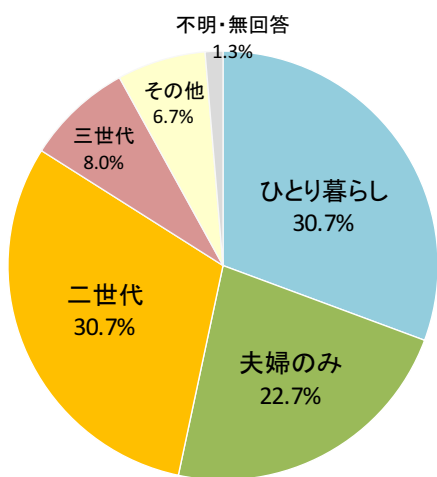


図 世帯構成

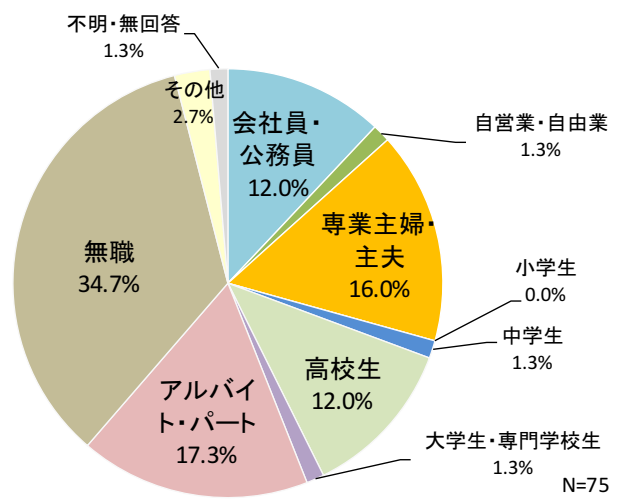


図 職業

○居住地域は、「大竹市外」が72.0%で最も多く、以下「小瀬川沿岸地域」(17.3%)、「大竹地域(西)」(5.3%)の順となっている。

○運転免許は、「持っていない」が77.3%で最も多く、「自動車運転免許」保有は17.3%となっている。

○自動車の保有状況では、「自動車はない」が53.3%で最も多く、次いで「主に家族が使う自家用車がある」が34.7%となっている。

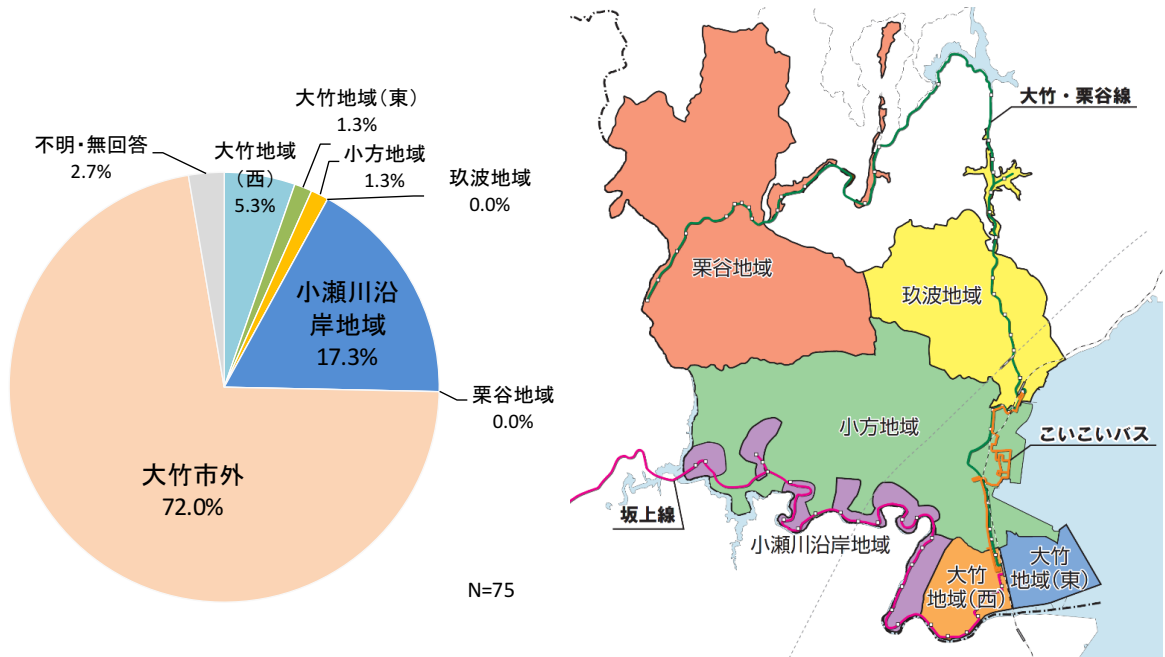


図 居住地域

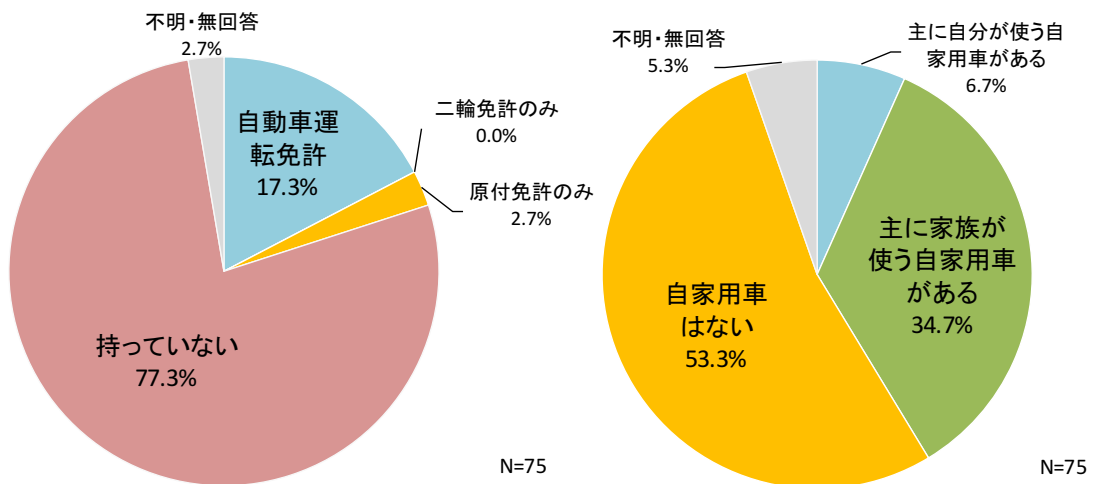


図 運転免許の保有状況

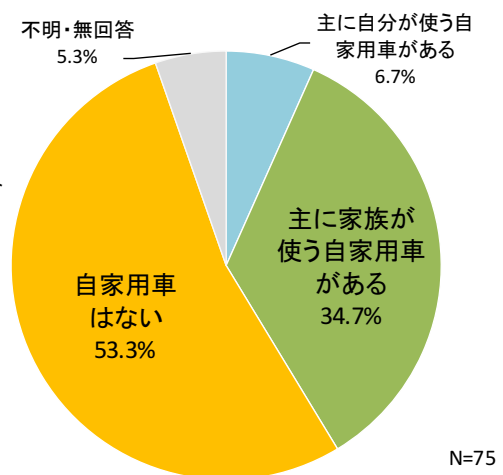


図 自家用車の保有状況

質問2 普段の坂上線の利用について

①坂上線の頻度

○「週に1～2日」が36.0%で最も多く、次いで「概ね毎日」が17.3%となっており、『週1回以上』（「概ね毎日」～「週に数回」の合計）利用している人が約67%を占めている。

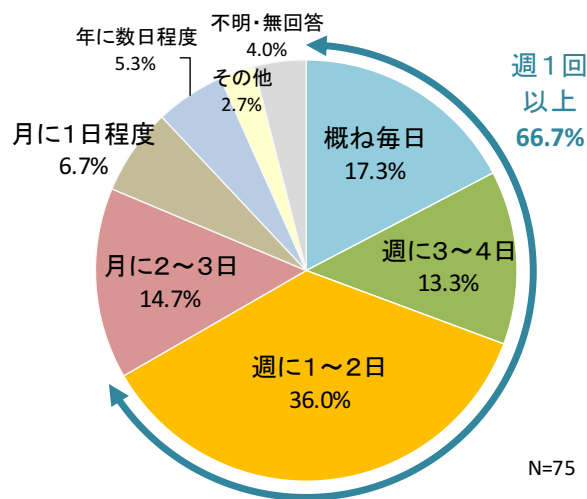


図 坂上線の利用頻度

②坂上線の主な利用目的（複数回答）

○「買物」が38.7%で最も多く、次いで「通院・看護」が34.7%、「通勤」が12.0%となっている。

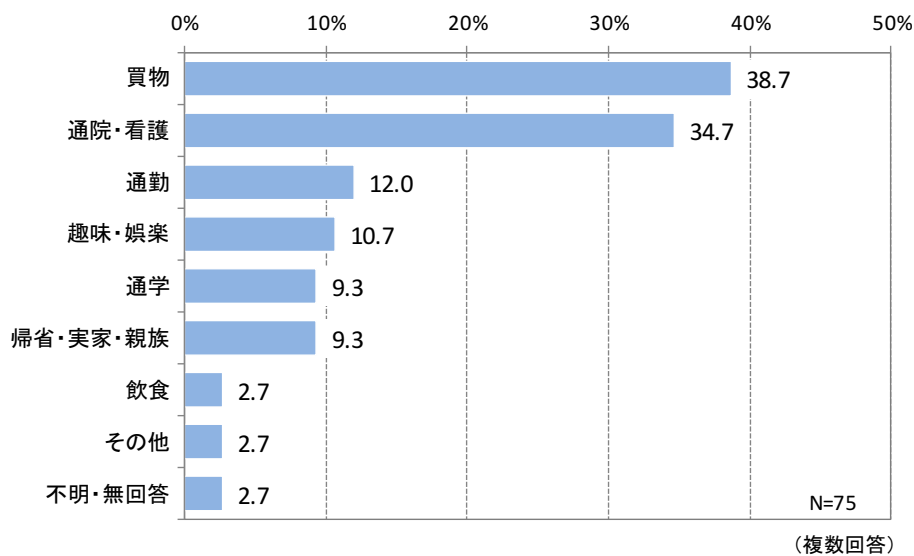


図 坂上線の主な利用目的

③坂上線を利用してよく訪れる目的地

○大竹駅が最も多く、28.0%となっている。以下実家(10.7%)、病院(岩国市・和木町)(6.7%)の順となっている。

表 主な目的地

主な目的地	回答数	(割合)
大竹駅	21	28.0%
実家	8	10.7%
病院(岩国市・和木町)	5	6.7%
病院(大竹市内)	4	5.3%
大竹市内(住所のみ記載)	4	5.3%
ゆめマート	3	4.0%
学校(岩国市内)	3	4.0%
坂上分校	3	4.0%
ゆめタウン	2	2.7%
サンマート	2	2.7%
その他(回答が1件のもの)	18	24.0%
無回答	2	12.0%
合計(回答者数)	75	100.0%

※病院、学校等、一部施設を集約している

④利用の多いバス停

○自宅に近い方のバス停では鮎谷が最も多く9.3%、次いで日光寺山団地が8.0%となっている。  
○行き先に近い方のバス停では大竹駅が最も多く60.0%となっている。

表 利用の多いバス停(複数回答)

自宅に近い方のバス停名	回答数	(割合)	行き先に近い方のバス停名	回答数	(割合)
鮎谷	7	9.3%	大竹駅	45	60.0%
日光寺山団地	6	8.0%	坂上分校前	3	4.0%
周防坂上	5	6.7%	名坪	3	4.0%
大竹駅	5	6.7%	上木野	2	2.7%
穂仁原	5	6.7%	新町	2	2.7%
中垣内	4	5.3%	大竹中学校	2	2.7%
中津原	4	5.3%	大竹本町	2	2.7%
下佐坂	3	4.0%	百合谷口	2	2.7%
小川津橋	3	4.0%	その他(回答が1件のもの)	8	10.7%
下安条	2	2.7%	不明・無回答	6	8.0%
下迫	2	2.7%			
下木野	2	2.7%			
上佐坂	2	2.7%			
比作	2	2.7%			
百合谷口	2	2.7%			
その他(回答が1件のもの)	15	20.0%			
不明・無回答	3	4.0%			
合計(回答者数)	75	100.0%	合計(回答者数)	75	100.0%

※2件以上のみバス停名を表示

⑤自宅から最寄りの坂上線停留所までの距離

○「おおよそ徒歩で3分以内」が25.3%で最も多く、以下「おおよそ徒歩で5分以内」(24.0%)、「おおよそ徒歩で10分以内」(17.3%)となっている。

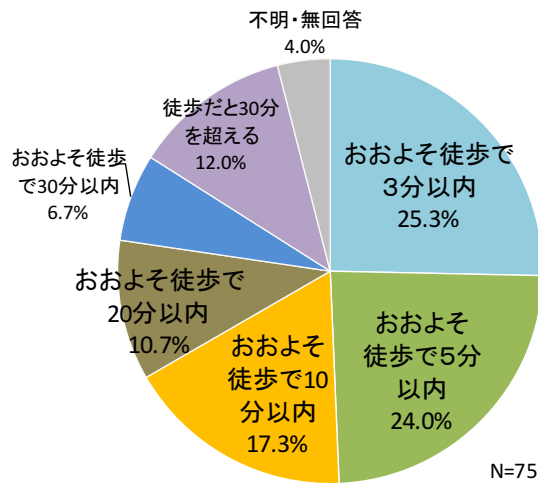


図 自宅から最寄りの坂上線停留所までの距離

⑥坂上線の行き帰りの利用について

○「行き・帰りともに坂上線を利用することが多い」が最も多く、77.3%を占める。

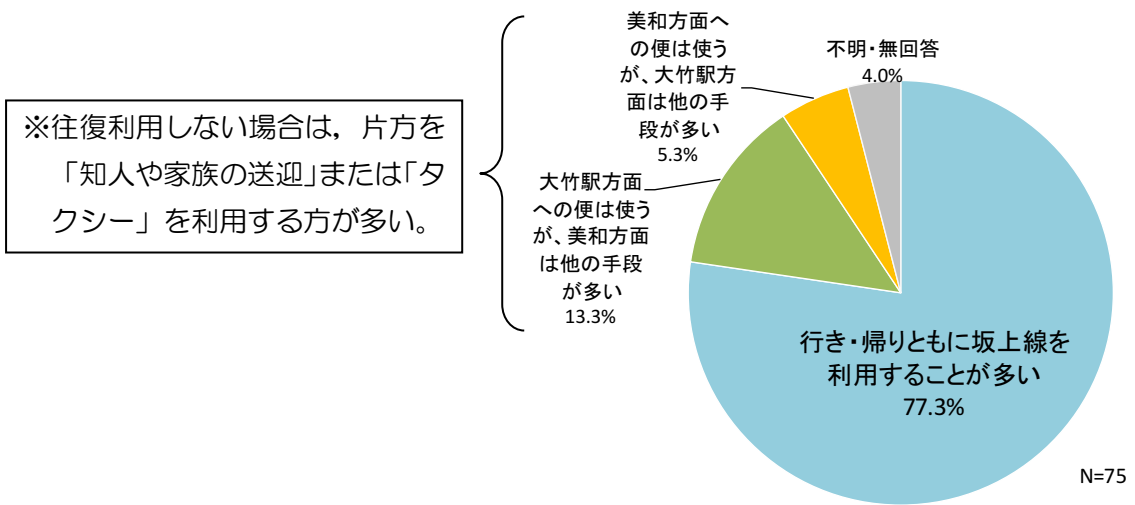


図 坂上線の行き帰りの利用について

⑦今後の坂上線の利用意向

○「つづけて利用する」が96.0%を占めている。

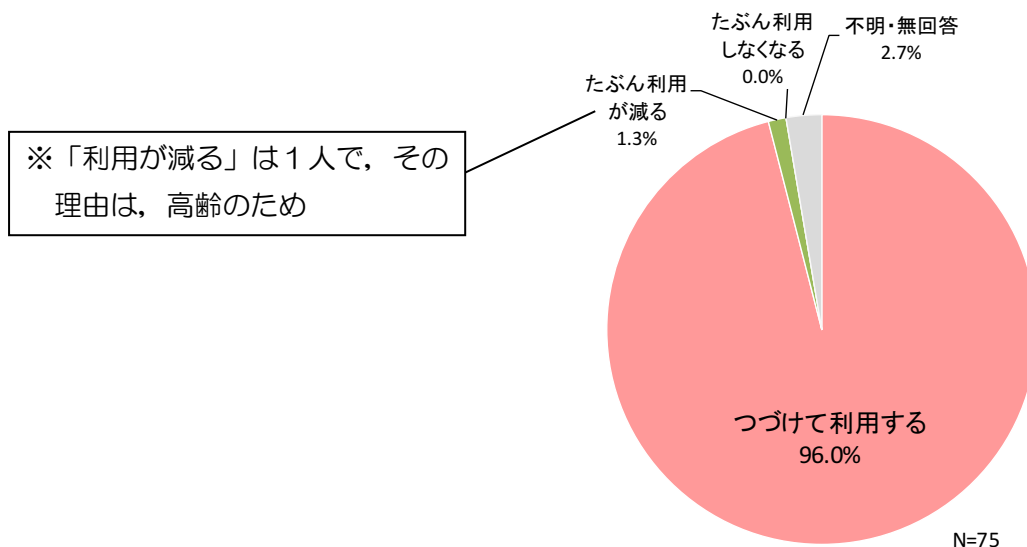


図 今後の坂上線の利用意向

質問3 坂上線の満足度や要望について

○「満足」(58.7%)、「非常に満足」(16.0%)を合わせると74.7%を占める。

○要望については、回答者の大半が増便を希望する内容である。

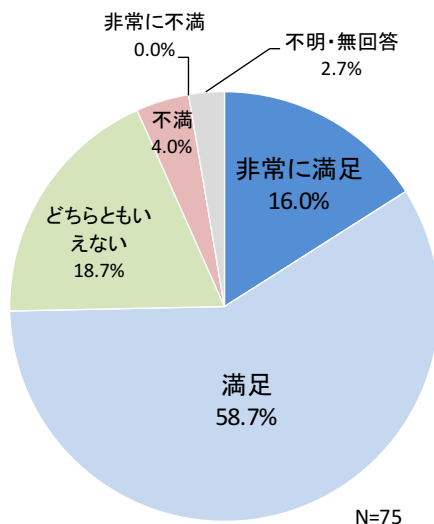


図 坂上線の満足度

[主な要望や意見(複数回答)]

- 便数・ダイヤの要望 20件
- 存続を希望、ないと困る 3件
- 車両の要望(低床バス, 両替機など)・ベンチ整備 3件 など

## 4 アンケート調査結果 <こいこいバス>

### 質問1 回答者（利用者）の属性

○「女性」が80.5%、「男性」が16.8%となっており、女性の割合が高い。  
 ○年齢は、「70歳代」が28.4%で最も多く、以下「80歳以上」(26.4%)、「60歳代」(17.2%)と続いており、60歳以上をまとめると約72%、また70歳以上では約55%を占めている。  
 ○世帯構成では、「二世帯」が33.7%で最も多く、以下「夫婦のみ」(29.4%)、「ひとり暮らし」(24.4%)の順となっている。  
 ○職業では、「無職」が45.9%で最も多く、以下「専業主婦・主夫」(17.5%)、「アルバイト・パート」(17.2%)の順となっている。

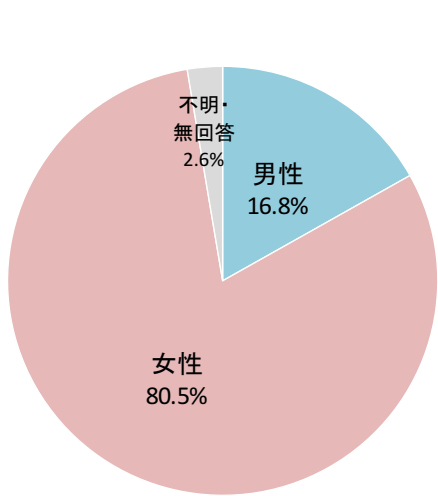


図 性別

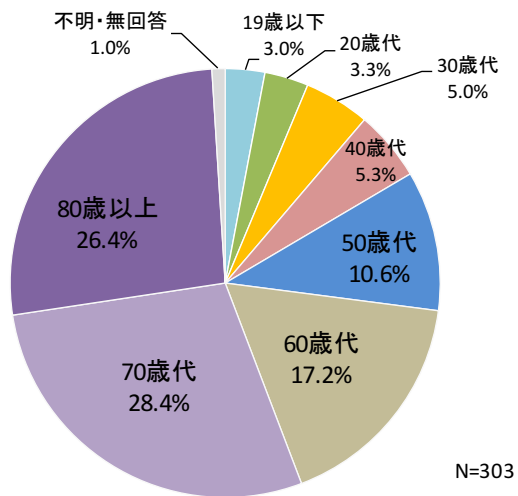


図 年齢

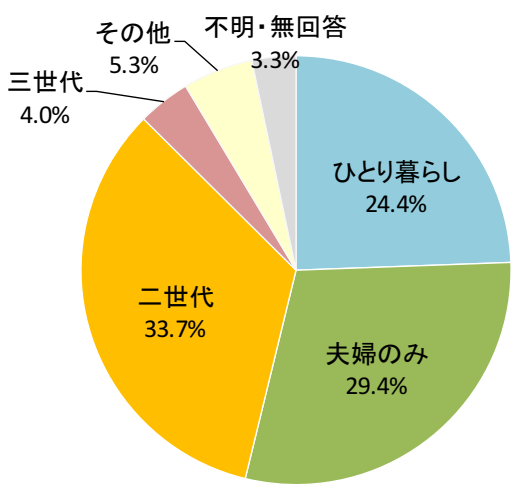


図 世帯構成

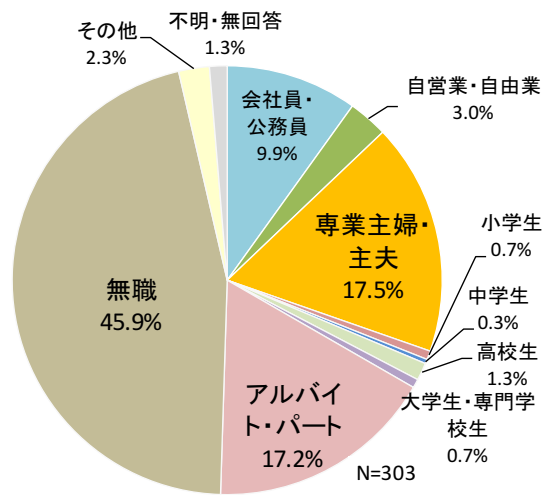


図 職業

○居住地域は、「小方地域」が35.0%で最も多く、以下「玖波地域」(24.1%),「大竹地域(西)」(16.2%)の順となっている。

○運転免許は、「持っていない」が67.7%で最も多く、「自動車運転免許」保有は25.7%となっている。

○自動車の保有では、「自動車はない」が48.8%で最も多く、次いで「主に家族が使う自家用車がある」が39.6%となっている。

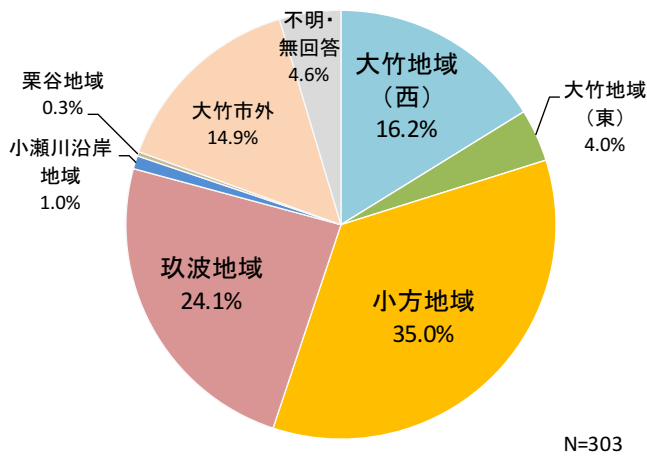


図 居住地域

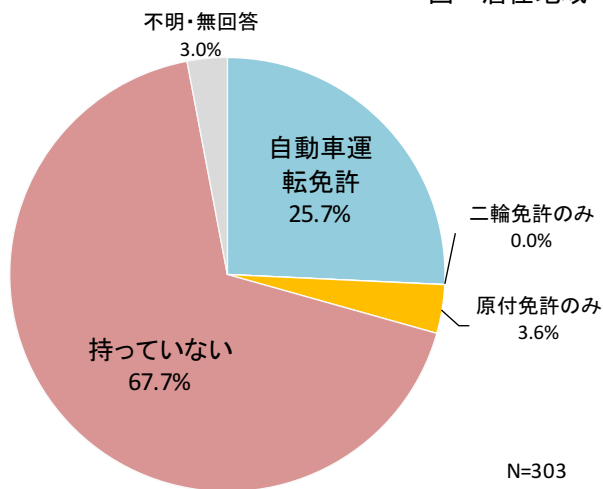


図 運転免許の保有状況

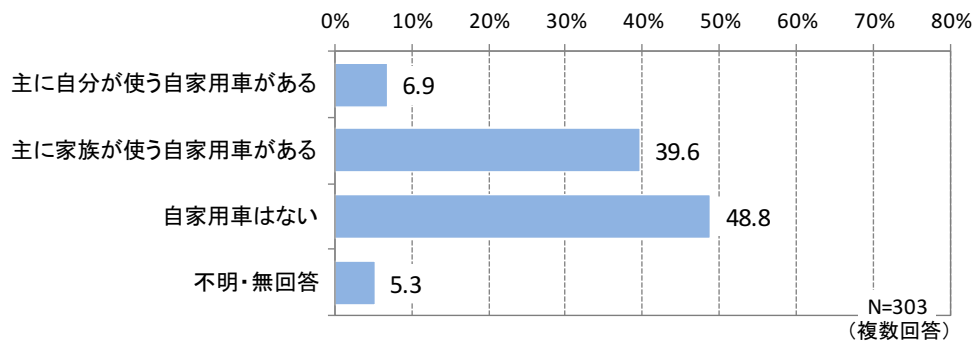


図 自家用車の保有状況



質問2 普段のこいこいバスの利用について

①こいこいバスの利用頻度

○「週に1～2日」が32.7%で最も多く、次いで「週に3～4日」が25.1%となっており、『週1回以上』（「概ね毎日」～「週に数回」の合計）利用している人が約69%を占めている。

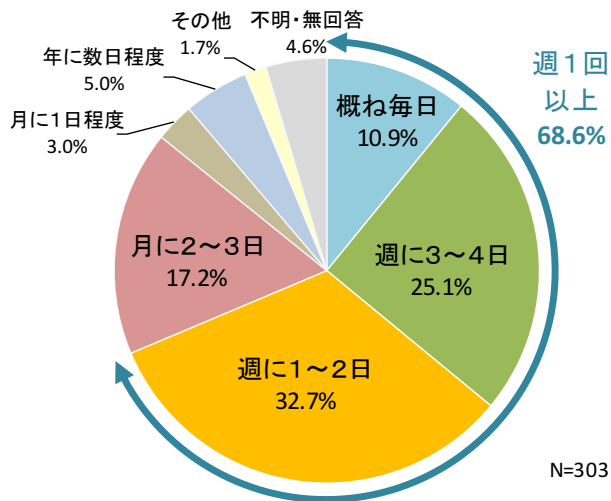


図 こいこいバスの利用頻度

②こいこいバスの主な利用目的（複数回答）

○「買物」が60.7%で最も多く、次いで「通院・看護」が29.7%、「通勤」が15.8%となっている。

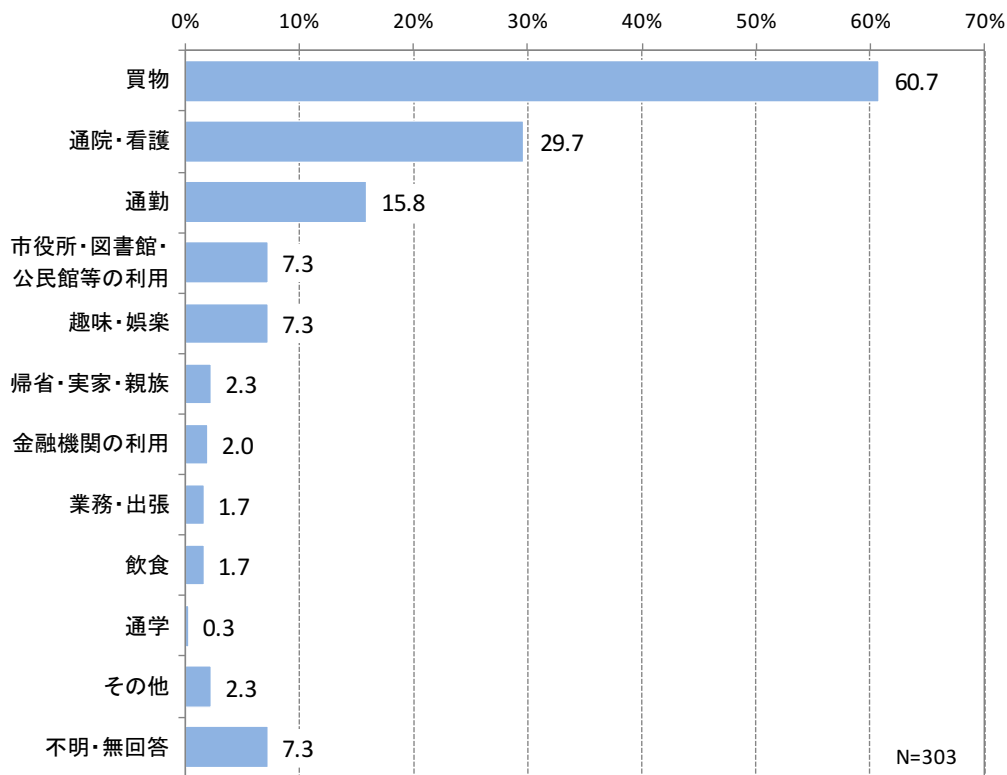


図 こいこいバスの主な利用目的

(複数回答)

③こいこいバスを利用してよく訪れる目的地（複数回答）

○ゆめタウン大竹が最も多く、57.1%となっている。以下広島西医療センター(8.9%)、大竹駅(8.3%)、玖波駅(6.3%)の順となっている。

表 主な目的地（複数回答）

主な目的地	回答数	(割合)
ゆめタウン大竹	173	57.1%
広島西医療センター	27	8.9%
大竹駅	25	8.3%
玖波駅	19	6.3%
病院・医院	11	2.6%
公共施設	6	2.0%
総合市民会館	5	1.7%
大竹市役所	5	1.7%
その他(回答は4件以下)	33	10.9%
不明・無回答	22	7.3%
合計(回答者数)	303	100.0%

※病院、公共施設等、一部施設を集約している

④自宅から最寄りのこいこいバス停留所までの距離

○「おおよそ徒歩で5分以内」が23.1%で最も多く、以下「おおよそ徒歩で10分以内」(21.1%)、「おおよそ徒歩で3分以内」(19.8%)の順となっている。

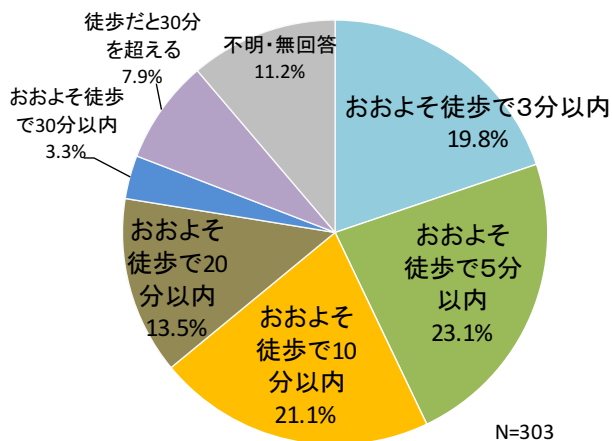


図 自宅から最寄りのこいこいバス停留所までの距離

⑤今後のこいこいバスの利用意向

○「つづけて利用する」が89.1%で最も多く、約9割が今後も利用の意向を示している。

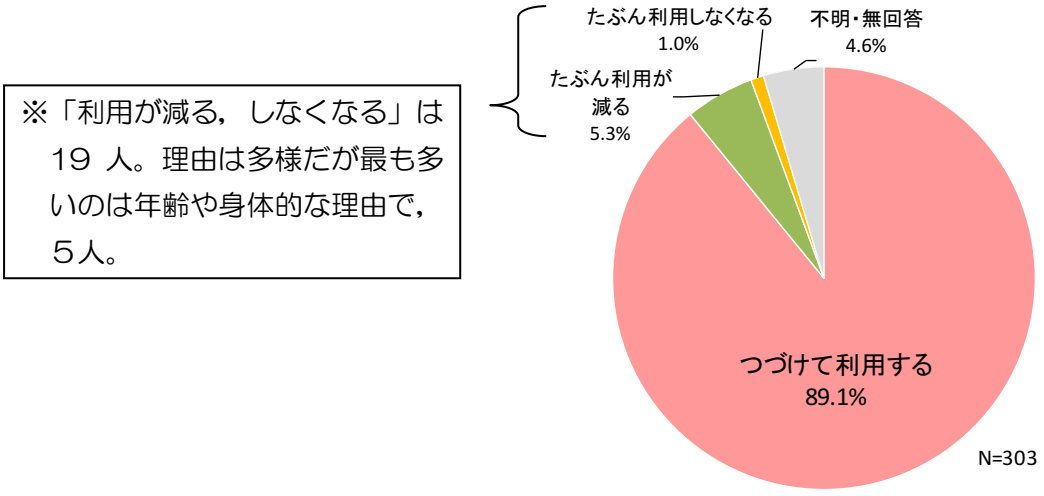


図 今後のこいこいバスの利用意向

質問3 こいこいバスの満足度や要望について

○過半数は満足しており、不満の割合を大きく上回っている。  
 ○満足（「非常に満足」、「満足」を合わせたもの）が最も高いのは「到着時間の正確さ」で67.0%、「不満」（「不満」、「非常に不満」を合わせたもの）の割合が最も高いのは「運行便数」で29.7%となっている。

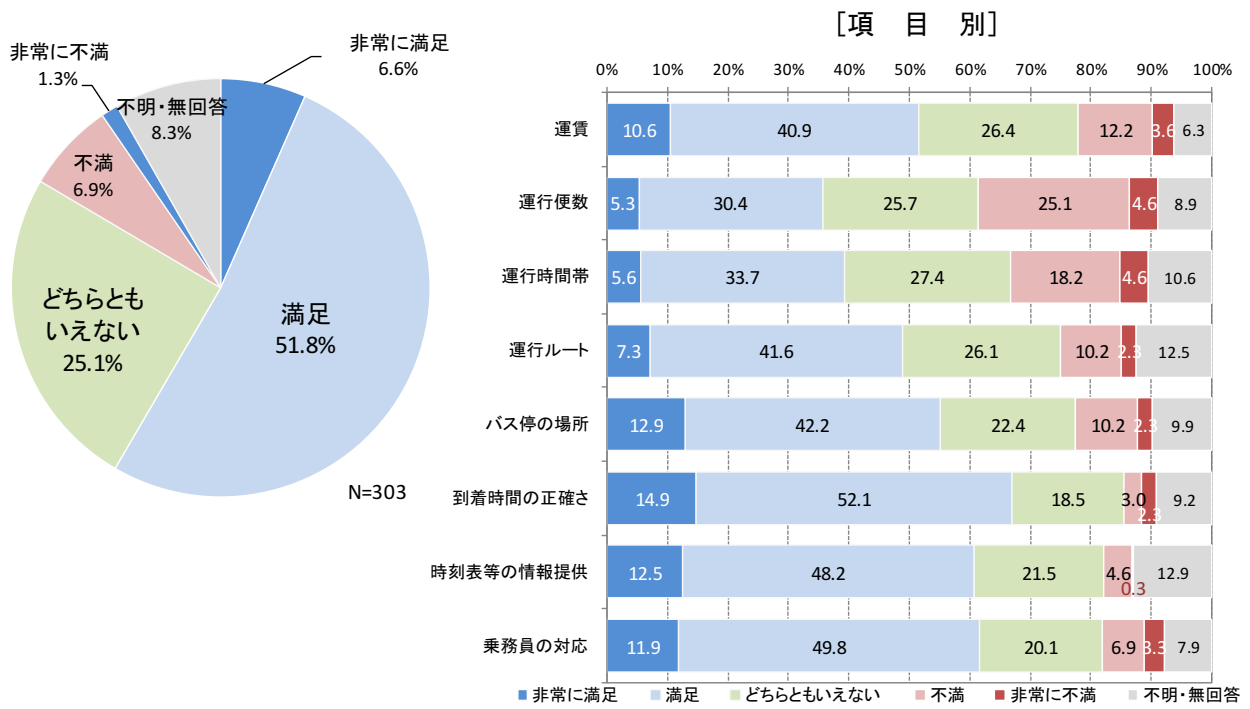
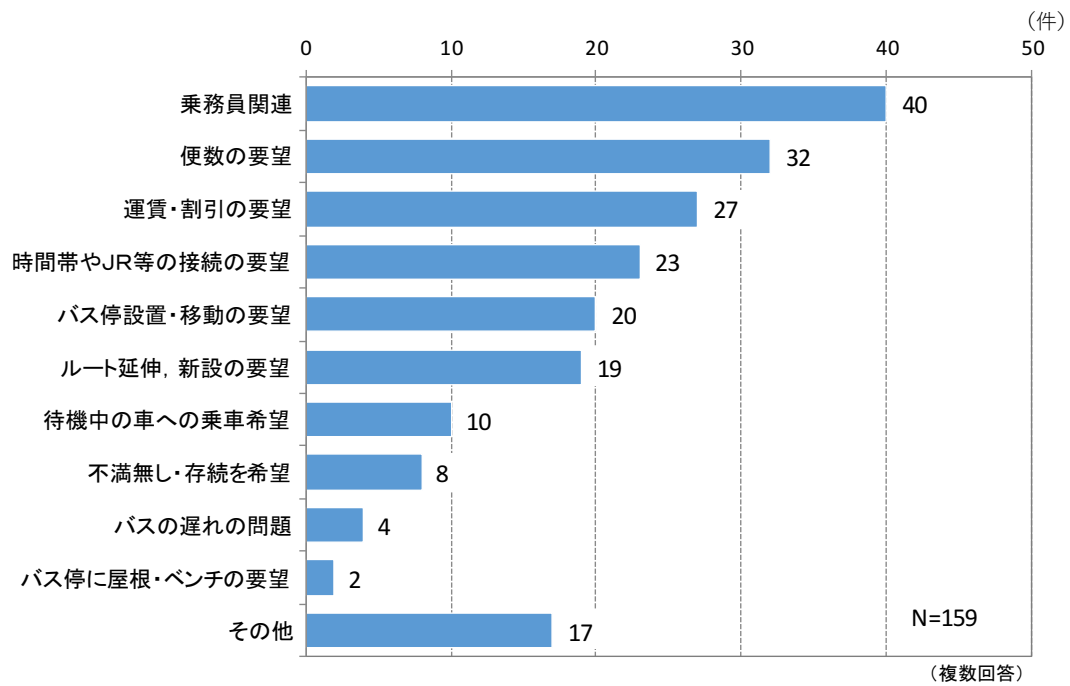


図 こいこいバスの満足度

○要望では、乗務員への意見が最も多く、次いで増便の要望や運賃、運行の時間帯などに関する意見が多くなっている。



※自由回答を項目に分類して集計 (複数回答)

図 こいこいバスの要望など